

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期	3	2	選択（教職必修）
担当教員			
秋山 憲治			
添付ファイル			

講義概要	この科目では、工業系の高校における職業指導に必要な考え方と知識を身につける。卒業後は大学・専門学校へ進学する生徒がいることをふまえて、卒業後の職業生涯という広い観点から職業をとらえる。したがって単なる就職指導ではなく、産業動向から生徒個人の適性・志向性までを含んだ指導を行うために役立つ科目とする。		
授業計画	1	職業をめぐる生徒と教師との客観的な相違 ・就職する工業高校生と教師との間にあるキャリア形成過程、職種、職業文化、職業階層などの客観的相違を十分に認識しておく必要性を解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること	
	2	就職指導と職業指導、職業教育とキャリア教育 ・就職指導と職業指導、職業教育とキャリア教育をめぐる概念の区別、変遷の背景について解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること	
	3	進路の実態（1） ・進路をめぐる工業高校出身者の経験事例、県内3工業高校の具体的状況を解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること	
	4	進路の実態（2） ・統計資料を用いて進路をめぐる県内の状況、全国の状況を解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること	
	5	就職困難期の職業指導 ・実例記録から、就職困難期の実態と対応について解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること	
	6	求人票の要注意点と求人企業のリスク把握 ・求人票の記載と求人企業のリスクについて注意すべき点とその背景を解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること	
	7	人生過程における職業 ・入職10年後までの発達課題について説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること	
	8	ワーク・ライフ・バランスの見通し ・無配偶者の時期と有配偶者の時期における職業と他の生活との関係を見通すことについて解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること	

	9	若者の職業観 ・仕事と余暇の選好、働く目的、理想の仕事などについて、若者の職業観の特徴を解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること
	10	将来的転職志向への対応 ・若年期における離職・転職の実態とその志向性への対応について解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること
	11	自営業継承志向と将来的開業・起業志向への対応 ・自営業継承や将来的な開業・起業の実態とその志向性への対応について解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること
	12	ケース・スタディ（1）：第11回までのまとめを兼ねて ・学業成績不振の生徒に対する職業指導について解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること
	13	ケース・スタディ（2）：第11回までのまとめを兼ねて ・フリーター志向の生徒に対する職業指導について解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること
	14	ケース・スタディ（3）：第11回までのまとめを兼ねて ・進路（就職または進学）に迷っている生徒に対する職業指導について解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること
	15	ケース・スタディ（4）：第11回までのまとめを兼ねて ・女子生徒（工業高校では少数派）に対する職業指導について解説する。 ・AL①を行う。 ・準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ ・課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること
	16	
授業形態	講義 アクティブラーニング：①:15回, ②:0回, ③:0回, ④:0回, ⑤:0回, ⑥:0回	
達成目標	①職業指導の意義を具体的に理解している。（基礎） ②職業について基本的な知識を身につけている。（標準） ③生徒に職業を学ばせることの問題意識を育んでいる。（標準） ④職業指導の内容・方法を探究する姿勢を身につけている。（応用）	
評価方法・フィードバック	課題（40%）とレポート（60%）で評価する。課題については授業中に解説する形でフィードバックする。	
評価基準	秀（①～④）：90点以上 優（①～③）：80～89点 良（①～②）：70～79点 可（①）：60～69点 不可：60点未満	
教科書・参考書	教科書：なし 参考書：労働経済白書、厚生労働白書（ともに厚生労働省ホームページでも公開）	
履修条件	職業に関する社会の動向を調べておくこと。	
履修上の注意	教職・工業（高校）の教員免許状を取得するための必修科目である。 必要に応じてノートPCを利用するので、故障などを修理してネットワークに接続できる状態にしておくこと。	
準備学習と課題の内容	準備学習：次回授業内容にかかわる重要事項の下調べ（1時間） 課題：授業内容を整理してまとめ、既習の他の教職科目の知識と結びつけること（2時間）	
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:30%, 思考・判断:30%, 関心・意欲:10%, 態度:20%, 技能・表現:10%	
DP1 知識・理解		
DP2 思考判断		
DP3 関心意欲		
DP4 態度		
DP5 技能・表現		